

ヒロシマ・ 音の記憶

Vol.2～繋がり～



2011. 6. 25 (土)

開演 14時00分(開場13時30分)

場所 広島市東区民文化センター 大ホール

出演者 打楽器アンサンブル/佐藤須美子、白石幸弘、山下やよい、金石あずさ、藤岡敬己、上原のぞみ
独唱/藤田真弓(ソプラノ)、溝辺恭子(ピアノ)
合同合唱/崇徳高等学校グリークラブ、安田女子高等学校音楽部
広島女学院高等学校音楽部、猪原龍吉(指揮)、小林知世(ピアノ)

料金 前売:1,000円、当日:1,500円(いずれも全席自由)

チケット販売 デオデオ本店プレイガイド、ヤマハ広島店

主催 「ヒロシマと音楽」委員会
広島市文化財団広島市文化振興基金助成事業

後援 広島市、広島市教育委員会、広島市文化協会、
広島芸術学会、中国新聞社、中国放送、広島テレビ放送、
新広島テレビ、広島ホームテレビ、広島エフエム放送

問い合わせ 「ヒロシマと音楽」委員会
(特定非営利活動法人 ANT-Hiroshima 事務局内)

Tel : (082) 502-6304

E-mail : hiroshima_ongaku@yahoo.co.jp

ホームページ : <http://www006.upp.so-net.ne.jp/hirosima-ongaku/>



広島学生音楽連盟章

昭和21年10月28日

焼け残った鉄道局の講堂

ドイツ製の小さなピアノをたよりに

日本を代表する

歌手 四家文子の声が鳴り響く

「広島の焦土に音楽を」

東京から一流の音楽家を

次々と招き寄せたのは

音楽に生きる力を求めた若者たち

PROGRAM

打楽器アンサンブル

喜遊曲「銅鉢の詠」
(佐藤正二郎 作曲)

佐藤正二郎

陸軍戸山学校楽隊出身。打楽器奏者、指揮者として東京及び広島で活躍する。さらに、「幻想的行進曲(フジヤマ)」、原爆犠牲者の冥福を祈念した「打楽器のための諷刺(黒い雨の日のヒロシマ)」、「マリンバと打楽器のための幻想曲(ヒロシマは…)」など作曲家としても知られる。広島大学名誉教授、広島文化学園大学名誉教授、日本吹奏楽指導者協会(JBA)終身名誉功労会員、NTT西日本中国吹奏楽クラブ名誉指揮者。



歌曲

「信田の藪」ほか(野口雨情 作詩/藤井清水 作曲による歌曲)

お話/インタビュー上映

「音楽で復興を! ~被爆直後のある学生音楽集団の取り組み~」

お話:「広島学生音楽連盟」元メンバー

合同合唱

混声合唱のためのカンタータ「土の歌」
(大木惇夫 作詩/佐藤眞 作曲)より

第1楽章(農夫と土)、第3楽章(死の灰)、第5楽章(天地の怒り)、第7楽章(大地讃頌)

出演者



崇徳高等学校
グリークラブ



安田女子高等学校
音楽部



広島女学院高等学校
音楽部



猪原龍吉
(指揮)



小林知世
(ピアノ)



藤田真弓
(ソプラノ)



溝辺恭子
(ピアノ)



佐藤須美子
(打楽器)



白石幸弘
(打楽器)



山下やよい
(打楽器)



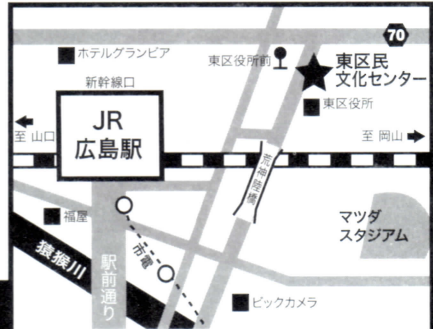
金石あずさ
(打楽器)



藤岡敬己
(打楽器)



上原のぞみ
(打楽器)



【東区民文化センター】
JR広島駅より徒歩15分
広島市東区東蟹屋町10-31
TEL 082-264-5551

「学生音楽連盟」について

原爆で荒廃した広島を音楽で
 活気づけようと、旧制の広島高等
 学校、広島高等師範学校、広島高
 等工業学校、広島女子専門学校、
 広島女学院の学生有志が結成。
 合同合唱団を結成してチャーリ
 ティー・コンサートを開催した
 ほか、東京から一流の音楽家を招
 いてのコンサートを企画・開催。
 被爆翌年には東京から四家文子
 を招き、広島鉄道局講堂にてリサイ
 タルを開催する。その後もほぼ
 毎月1度のペースで同様のコンサ
 ートを企画・開催し、昭和22
 年には長門美保歌劇団を招聘、オ
 ペラ「蝶々夫人」の上演を実現す
 るなど、旧制高校が廃止となるま
 で精力的な活動を展開した。
 半世紀以上の歳月を隔て、平成
 23年6月、若者たちの響宴が再
 来する。



チラシ作成【くりかいデザイン】
<http://kurikaidesign.web.fc2.com/>

「ヒロシマと音楽」委員会について

被爆50周年を機に「ヒロシマ」をテーマとする音楽作品のデータベース化を行うために結成され、2006年には音楽
 作品のリストを掲載した『ヒロシマと音楽』(汐文社)を出版。
 現在もデータ収集事業を中心に活動を行っています。
 詳しくはホームページをご覧ください。
<http://www006.upp.so-net.ne.jp/hirosima-ongaku/>

